

地域	愛知県豊橋市	認定日	平成19年3月29日	4 - 18 - 049
事業分類	製造(木材・紙・印刷)	テーマ分類	その他	

事業名: 画期的な製版・印刷・製本技術を活用した割安ミニチュア本の製造販売事業

事業概要(新規性、市場性等)

- ・本事業は「ミニチュア本」の中でも縦68mm×横50mm前後の小型版の本を製造、販売する事業。従来の「豆本」とは違い、製版～印刷～製本の各工程において画期的手法を取り入れ、品質・コスト面を差別化するとともに、全国規模の企画・販売網を持つ大企業子会社と連携することにより、市場占有率NO.1を目指す。
- ・10μ(0.01mm)単位の制御による高精度製版、紙の歩留率を従来の3倍にした高精細印刷、本の背の折れを防ぐ高品質製本といった独自のノウハウを持ち寄ることで、従来の「豆本」に比べてトータルコスト40%、製造能力100倍を実現。初年度1億円、4年間で14億円の売り上げを目指す。

事業推進体制

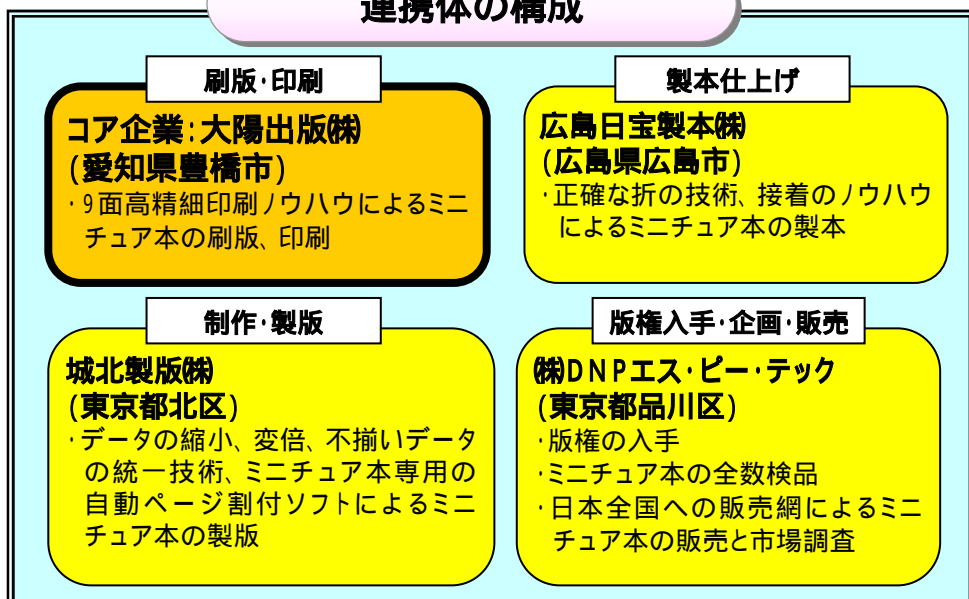
金融支援

豊橋信用金庫
静岡銀行
中小公庫

支援予定メニュー

補助金
低利融資(中小公庫)
高度化融資

連携体の構成



手塚治虫作品セット販売例



連携のきっかけ、特徴

・サイズが68mm×50mm前後の本は、従来、豆本と称し、市場には40年程前からかなりの量が出回っていたが、字がつぶれたり、本が背割れしたり、紙の歩留まりが悪くコストも掛かることから、企画に上がっても世に出る本より企画倒れになるものが多かった。何とか全ての企画を世に出したいと思い調査したところ、製版の精度、印刷の精度、製本の折の精度、接着と全国規模の販売網が必要である事が分かり、それぞれの分野で特長を持った会社を探した。その結果、製版では城北製版(株)、製本では広島日宝製本(株)、市場調査と販売網は(株)DNPエス・ピー・テックが最適と分かり、ミニチュア本として製造販売に着手することとなった

・連携企業それぞれの『強み』を生かした新事業

高精度&高速製版:10 μ (0.01mm)単位の点の数を制御し、微細な線を表現するための自動化ソフト、ミニチュア本専用の自動ページ割付ソフトを自社で開発

高精細印刷:1インチ(25.4mm)の線の上に800の点を印刷(他社は300程度)

高品質製本:紙の折(おれ)誤差1/5($\pm 1\text{mm}$ $\pm 0.2\text{mm}$)、B5サイズで従来3冊を9冊取れるようにした(紙の歩留率3倍)。ホットメルト(熱溶解性特殊のり)使用でページがはがれにくい強固な版權入手ルート、および全国ネットの販売網

コア企業の会社概要

企業名・代表者	大陽出版株式会社 代表取締役社長 中田 學	
所在地	愛知県豊橋市神野新田町口ノ割200	
創業	昭和56年4月	
資本金・従業員数	1,700万円	75名
業種	印刷業	
T E L	0532-32-7617	
F A X	0532-32-7619	
ホームページ	http://www.taiyoushuppan.co.jp/	
e-mail	nakata@taiyoushuppan.co.jp	

PR等その他の情報

・ミニチュア本はサイズ・価格ともお手軽で持ち運びやすく、どこでも読むことができ、便利な本である。今はコミック、ノベルティが主体だが、今後は暗記力や記憶力そして計算力を高める本として、また、外国語会話の補助本として、その他常に身近にある本として販売し、社会に貢献したいと考えている。このミニチュア本の利用価値は限りが無いと思われる